

だれにも当てはまる日常のできごとを人間味のある、あるが

ままの目でユーモラスに綴る CL diary #64

むーらん



chiaf

20110月26日(土)

久しぶりにクリーニング店へ礼服を持っていった。店の人が「よりきれいに仕上がるコースがあるのですが」とか「防虫加工してあるカバーはいかがですか」とかいろいろ勧めてくれる。それにひとつひとつ「お願いします」と返事をしていたら、なんと支払いが4000円！びっくりしたけれど冷静を装って支払いを済ませる。次からは、必要なものを、もっとよく考えようと反省。

11月28日(木)

クリニックに行ったあと向かいの建物の中にある定食屋さんでお昼。お肉の定食を注文したら、あいにく切らしてしまったという。それなら「魚のメニューから決めます」と言って、どれにするか考えていたところ「お肉の仕込みがちょうど今できました！」と店員さんが急いで伝えに来てくれた。でも私の興味はすでに魚に移っていて、結局、魚の定食を注文した。伝えに来てくださった人には申し訳ないけれど。

1月16日(木)

今日は通販で注文しておいた猫のトイレ砂が届く日。大きい袋が4個セットになっていて、いつも重いものを上の階まで運んでくださるので、とても助かっている。かなり重いので、今日も配達は男の人だろうと思っていたら、なんと小柄な女の人が重い袋を肩に担いで持ってきてくださった。重い荷物は男の人が持つものだと決めつけていた自分に気づく。

4月14日(火)

朝、駅に行ったら、強風で電車が止まっている区間があり、当駅で折り返すのでホームが変更になります、とのこと。それで階段で移動していた私の隣を、駅員さんが猛スピードで駆け上がっていかれた。急なダイヤの変更で、駅員さんも大変なのだろうな、と思った。駅員さんの努力のおかげで、私は安全に電車に乗ることができる。

4月22日(水)

朝、家を出たらドアの前が鳩の糞だらけ。どうしたのだろう、いつもはこんなことはないのに、と思ってエレベーターで下に降りると、掲示板に、管理人さんが急病でお休みされるとの張り紙が。2日ほど前から休んでおられるらしい。特に意識することなく、毎日マンションの通路を通っていたが、きれいに保たれていたのは、管理人さんが毎日掃除をしてくださっていたからなのだと、あらためて思った。

6月2日(火)

あるコンビニで売っているピクルスがおいしくて最近よく買っている。今日も2個レジへ持っていったら、

店員さんがそれを小さい袋に入れて口をしぼってから、ほかのものと一緒にレジ袋に入れてくださった。以前、ピクルス液が袋のなかでこぼれて、ほかのものに酢のにおいがついてしまったことがあった。それをこぼれないようにしてくれた、さりげないサービスだけれど、とても嬉しかった。

6月29日(月)

1巻めを買ったコミックの2巻めが発売されていることを、本の通販サイトで知り、注文したものが届いていた。それが今日、片付けをしていたら、袋の中から同じ2巻めのコミックが出できた！通販で注文するより早く、本屋で買っていたのだろう。まったく記憶がないのだが…同じ本が2冊！

(滋賀県滋賀郡CLインストラクター)



[目次へ戻る](#)